

献血されたあなたへ

C型肝炎ウイルス検査の 結果についてご説明します



献血時の
ウイルス検査

Q&A

この冊子をよく読んで、
一度、肝臓専門医を
受診することをおすすめします。

監修 武蔵野赤十字病院
院長
泉 並木

Q

献血時に血液検査(病原体検査)を行うのはなぜ?



A

献血した血液に病原体が入っていないかを調べ、輸血用血液に病原体が混入するのを防ぐためです。

病原体に感染している人の血液を輸血すると感染が起こることがあります。そのため、献血されたすべての血液に対し、さまざまな病原体検査を行い、輸血用血液への病原体の混入を防いでいます。

その結果、現在では輸血による病原体感染はほとんどみられなくなっています。



今回、あなたの献血時に行った血液検査(病原体検査)の結果、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染しているか、過去に感染したことがある可能性がわかりましたのでお知らせしています。

病原体の感染を防ぐために行っている検査

- B型肝炎ウイルス検査
- C型肝炎ウイルス検査
- エイズウイルス(HIV)検査
- HTLV-1(ヒトT細胞白血病)ウイルス検査
- ヒトパルボウイルスB19検査
- 梅毒血清学的検査

Q

C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは何を調べるの？



A

ウイルスに対する抗体や、ウイルスの遺伝子(RNA)が血中に存在するかどうかを調べています。

C型肝炎ウイルス (HCV) に感染しているかどうかは、

1. 免疫によって作り出されたHCV抗体
2. C型肝炎ウイルスの遺伝子 (HCV-RNA)

の2つの検査を組み合わせて行います。

C型肝炎ウイルス検査では、まずHCV抗体を確認します。これが陽性の場合、現在感染している方(HCVキャリア)か、あるいは過去に感染し現在は治癒した方のどちらかです。両者を区別するためには、HCV-RNA検査を行います。

ウイルスとは？

ウイルスは細菌よりずっと小さい感染性因子で、細胞の中ですみついて増殖します。C型肝炎を起こすウイルスをC型肝炎ウイルス (HCV) と呼びます。

抗原 / 抗体とは？

身体の中に細菌やウイルスなどの異物が侵入すると、それを排除するため免疫が働いて特殊なたん白質をつくります。この異物を「抗原」、作り出されるたん白質を「抗体」といいます。

C型肝炎
ウイルス
(HCV)
(抗原)



HCV抗体
(抗体)

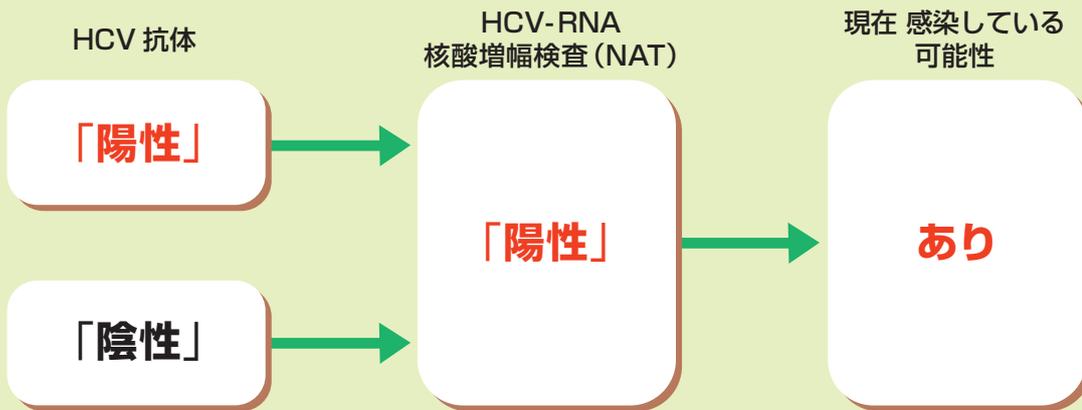
Q

C型肝炎ウイルス検査の結果は何を意味しているの？



A

HCV抗体の結果にかかわらず、HCV-RNA陽性(+)と判定された方は、現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。したがって、これらの血液は輸血用血液に使用していません。



今後どうしたらよいかは P6 をご覧ください

Q

検査結果は間違いないの？



A

輸血を受けられる患者さんのために、血液の安全性の確保の観点から疑わしいものを含めて陽性としております。医療機関で感染していないと診断されることもありますが、今回陽性と判定された方は、一度、**肝臓専門医***を受診することをおすすめします。

日本赤十字社では輸血用血液へのウイルスの混入を防ぐため、C型肝炎ウイルスに対してはスクリーニング検査としてHCV抗体、さらに精度の高い核酸増幅検査(NAT)を実施しています。

スクリーニング検査は少しでも見逃しのないように、疑わしいものを含めて「陽性」と判定しています。

そのため、本来は陰性にもかかわらず、あたかも陽性として反応してし

まうこともあります。

〔その要因はさまざま、より優れた試薬とするために試薬メーカーと協力し、原因追求と試薬の改良を日々進めています。〕

医療機関で診察を受けた場合、精密検査を行いより正確なウイルス感染状態がわかり、感染していないと判定されることもあります。

現在感染している可能性がある方は、一度肝臓専門医を受診し、精密検査を受けることをおすすめします。



*お近くの肝臓専門医は日本肝臓学会ホームページ(<http://www.jsh.or.jp>)にて確認できます。

Q

すぐにしなければ ならないことは？

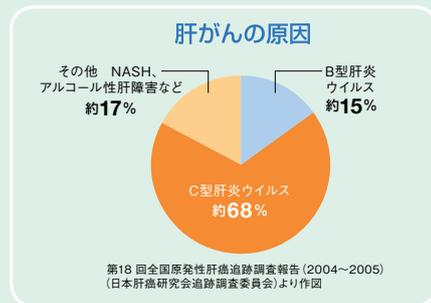
A

感染している可能性ありと判定された方は、
肝臓専門医*を受診し、なるべく早く
「肝臓の状態」をチェックしましょう。



現在 感染している可能性が
ありと判定された方
あなたは HCV キャリアの可能性が**あります**。

肝炎の活動度や病期など肝臓の状態を調べ、すぐに治療が必要か、経過観察でよいか診断を受ける必要があります。肝がんの原因の約7割はC型肝炎ウイルスです。症状がないからといって放置せず、肝硬変や肝がんの予防のため、早期に肝臓専門医を受診することをおすすめします。



*お近くの肝臓専門医は日本肝臓学会ホームページ(<http://www.jsh.or.jp>)にて確認できます。

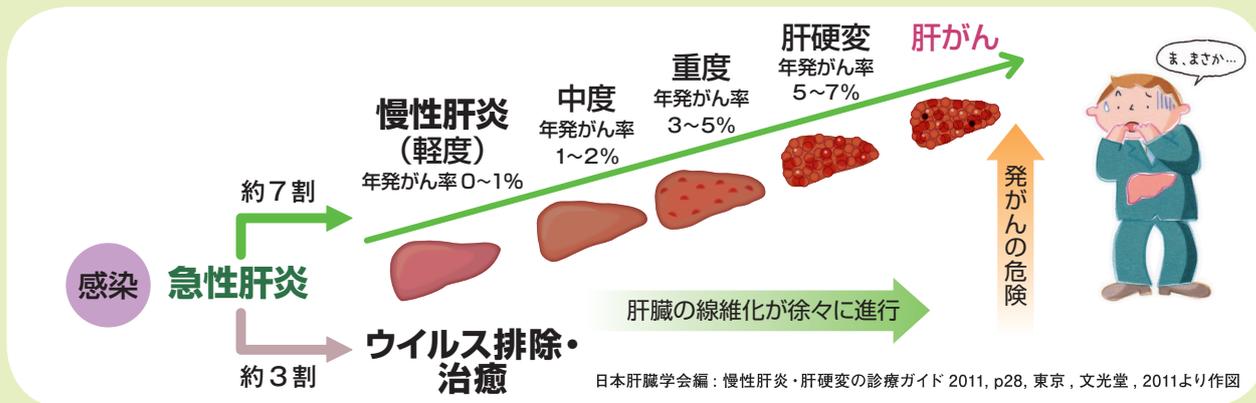
Q

C型肝炎ウイルスに感染していると、 今後はどうなるの？



A

急性肝炎を経て慢性肝炎を起こすことがあります。すぐに治療が必要になることは少ないものの、放置すると徐々に肝臓の線維化が進み、肝硬変・肝がんを発症します。しかし、適切な治療でウイルスを排除したり進行を遅らせることができます。



- C型肝炎ウイルスの持続感染者を HCVキャリアと呼びます。日本には 150万人～ 200万人の HCVキャリアの方がいると考えられています。HCVキャリアの大半は自覚症状がないため、献血をした際や検診を受けた際に初めて発見される場合がほとんどです。

Q

C型肝炎は治療できるの？



A

**治療法は飛躍的に進歩しています。
治療にかかる医療費の助成制度もあります。**

C型肝炎の治療には、抗ウイルス療法と病態の進展を遅らせる肝庇護療法がありました。近年、飲み薬だけによる抗ウイルス療法が使用できるようになりました。しかも、インターフェロンのような副作用が少なく、これまでさまざまな合併症でインターフェロンが使えなかった患者さんでも安全に治療できるようになり、多くの患者さんからC型肝炎ウイルスを体内から排除することができるようになりました。

まずは一度、肝臓専門医にご相談することをおすすめします。

肝炎に対する医療費助成制度

C型慢性肝炎では、治癒を目的とした抗ウイルス療法に対して公費による医療費助成制度が設けられています。



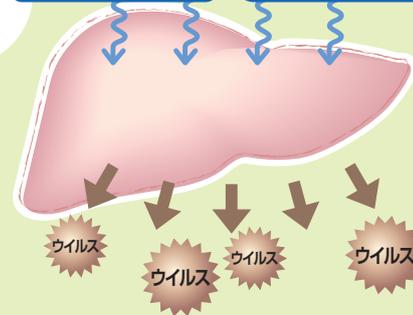
(飲み薬)

抗ウイルス薬

インターフェロン



(注射薬)



ウイルスの増殖を止めるなど

Q

受診の結果、HCVキャリアと診断された人が 日常生活で注意することは？



A

健康管理を心がけ、他人への感染に気をつけましょう。
ご家族の方は、念のためC型肝炎ウイルス検査を
受けることをおすすめします。

C型肝炎ウイルスは、主に血液を介して感染します。

日常生活でいくつかの注意事項を守っていれば、周囲の人に感染することはほとんどありません。同じ食器を用いたり、入浴や洗濯物では感染しません。あまり神経質になる必要はありません。

※ HCV キャリアのご家族の方は、念のため一度C型肝炎ウイルス検査を受けることをおすすめします。
医療機関、お近くの保健所にご相談ください。

1



血液が付着する可能性のあるカミソリや歯ブラシなどの共用は避ける。

2

血液や分泌物がついたものは、しっかりくんで捨てるか、流水でよく洗い流す。



3

外傷、皮膚炎、鼻血などではできるだけ自分で手当てし、手当てを受ける場合は血液や分泌物を、手当てをする人につけない。



4

口のなかに傷がある場合は、乳幼児に口移しで食物を与えない。



5

献血は辞退する。



おわりに

日本赤十字社では、いのちを救うために欠かすことのできない血液を確保するため、皆さまに献血のご協力をお願いしています。

献血していただいた血液は、輸血用血液などに利用していますが、安全性を確保するため、さまざまな検査や対策を講じています。

本誌では、こうした安全対策の一環として実施している「C型肝炎ウイルス検査」について、その目的やあなたの検査結果について、ご説明しました。

献血のご協力に感謝するとともに、検査の結果をぜひあなたの健康管理にお役立ていただきますようお願い申し上げます。

日本赤十字社 血液事業本部